

昭和61年度施政方針

大変貴重な時間をお許し頂き誠にありがとうございます。

昭和61年第1回市議会定例会の開催に当たり、昭和61年度の市政運営につきまして、私の所信と施策の大綱について申し述べさせて頂きたいと存じます。

御承知の通り、本市は昨年市政施行15周年を迎えたところでありますが、本市が30周年を迎える時丁度21世紀が始まります。

福生市は、おかげさまで先人の御尽力と議員各位並びに市民各位の深い御理解と御協力によって、着実に発展して参りました。

それぞれの場面で市発展のために御尽力賜りました皆様に、深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

さて、21世紀への道程で考えます時、昭和61年度は、後半の15年へのスタートの年になります。

今まで培われてきたものの上に、更に着実に努力を重ね「活力ある市民のまち」づくりに邁進しなければならない非常に重要な年と考えております。

昨今、世の中の変化は、非常に加速されているように思います。

例えば、65歳以上の人口が全人口に占める比率が7パーセントから14パーセント、即ち2倍になるのに英国、西ドイツでは45年かかり、米国では70年かかるだろうと言われますが、日本では26年、あと11年程で14パーセントになると推計されています。

福生市では現在、高齢者人口比率は6.4パーセントで日本の全体水準より遅れていますが、それだけ若いまちと言える反面、今後急速に高齢化が進む可能性もまたあると言わなければなりません。

このような流れの中にあって、本市を誇りとし本市に住んで良かったというまちを創っていくために、全力をあげて取り組んでいかねばならないと考えております。

このため、昭和52年に作成した市総合計画中の基本計画を見直し、昭和64年までの施策目標と大綱をお示しいたします。

昭和61年度は、本修正計画に基づく第1年目に当たります。今後、いろいろと御検討も頂きながら肉づけし目標の達成ができますよう御協力を切にお願い申し上げます。

さて、この様な状況の中で、私は昭和61年度市政運営の第一に、修正された基本計画に基づいて作成された実施計画によって、事業を積極的に推進して参ります。

第二に、行政改革については、現在行政改革審議会が鋭意検討下さっておりまして、御答申を頂けると存じますので、その結果を尊重し、市の行政改革を推進して参りたいと考えております

が、一部研究の進んでいる電算化等の事務改善については、可能なところから取り組んで参ります。

第三に、国においては、一般歳出の4年連続の零パーセントの伸びに表われているように、歳出の削減が行われ、国庫補助、負担金等が変更されてきている状況の中で、困難なことではあります。財源の確保に全力をあげて努力して参りたいと存じます。

この点、特に議員各位の御協力、御支援をよろしくお願い申し上げます。

同時に、限られた財源の計画的、重点的配分に意を用いて参ります。

第四に、自治体間競争がますます激化する今日、基本構想に定められたまちづくりを進めるためには、私共を含め職員は勿論、議員各位を初め市民の皆様の御理解と御協力、御参加を頂き、創意工夫をこらしたまちづくりを進めていかなければなりません。このため、様々な形でのコミュニケーション、意志の疎通を図って参りたいと存じます。

第五に、基地問題につきましては、今まで通り基地及び関係機関と綿密な連絡を取りながら、引き続き安全性の確保と周辺整備に努力して参ります。

さて、後ほど御提案申し上げます昭和61年度当初予算案につきましては、以上のことを踏まえて編成いたしました。その概要につきまして御説明申し上げます。

一般会計の総額は、122億5,386万9千円で前年度と比較いたしますと9.0パーセント、約10億円の増となります。

また、一般会計、特別会計を合わせますと、171億6,167万5千円で、前年比8.3パーセント、約13億円の増と相成る次第でございます。

歳入面では、昨年に続き国庫補助、負担金等の削減があったものの、市税、地方交付税の伸びや都支出金の増等により対応して参ります。

なお、国民健康保険税、保育料については、諸般の事情から改定をさせていただきたく、御理解を承りたいと存じます。

次に施策のうち、新規事業を中心に申し述べます。

健康で幸せな市民生活を守る施策といたしまして、防災対策を充実するために防災行政無線の改造を行うほか、自主防災組織のための地域防災倉庫の設置を3か年計画で進めて参ります。また、消防自動車の買替えを引き続き行うほか、御苦勞頂いております消防団員の出勤等の手当の引上げにより処遇の改善をして参ります。駐輪対策として、福生駅西口の土地開発公社による先行取得地を有効に活用していけるよう整理の徹底を図って参ります。

環境衛生面では、貸出用消毒機の買替えを始めるほか、下水道の普及に伴う尿処理の減少に伴い、水洗化未改造世帯に対する汲取り有料化の問題の検討、ゴミ処理に力を入れて快適な環境づくりに努めて参ります。

保健医療面では、各種健康診査、検診等を充実し、新たに機能訓練を実施して参ります。

社会福祉関係面では、相互扶助、自立といった点を含め今後のあり方について検討しつつ、福祉内容の充実を図って参ります。また、保育園等各施設の整備も進めて参ります。

国民健康保険につきましては、制度の変化等のため大変御迷惑をお掛け致しております。税改正や一般会計からの繰入金によって対応していかねばなりません、国、都の補助金等の増額に努める一方、適正な給付を図って参りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。国民年金についても、法改正によって国民皆年金となりますので、遺漏なきを期したいと存じます。

魅力にあふれる住みよいまちづくりのための施策として、福生駅西口再開発事業につきましては、いろいろと御配慮頂いているところですが、当面仮称福生駅西口広場公園及び自由橋改良工事等の完成に向けて努力を傾注しつつ、再開発事業の計画全体についての検討を進めて参りたいと存じます。なお、熊川地区土地区画整理事業については、昭和59年度調査を更に進めた調査を実施して参ります。

道路については、計画にそって事業を進めるほか、市営住宅について2棟30戸の建替えを進めて参ります。

公園については、仮称武蔵野橋公園を新設し、緑化につきましては、新たに樹木、生け垣に対する保全奨励金の交付を制度化して参りたいと存じます。

下水道につきましては、おかげさまで污水管の布設もほぼ完成をみましたので、今後水洗化の普及について努力すると共に、雨水について下の川の改修に伴う設計に取り組んで参ります。

産業経済面では、16号線拡幅に伴う商店街整備を助成することとします。

豊かな人間性と文化を育くむための施策として、学校施設整備については、三中の増築のほか、計画に基づく整備を行い、また問題行動児のための電話相談事業を始めて参ります。

社会教育面では、それぞれの施設の改良工事等のほか事業活動の質的充実を図って頂くこととしました。図書館分館のオンラインによる電算化も図って参ります。

なお、本年は、文化行政面で西多摩地域広域行政圏事業として、市民会館を使い、芸術文化鑑賞事業としてミュージカルの上演を行います。

文化財関係では、文化財収納庫を設置するほか、玉川上水旧堀跡の調査や、市史編さん事業として新たに資料集を刊行して参ります。

社会体育面では、熊川地区に地域体育館を新築する予定をしておりましたが、用地の確保が難しくなっておりまして、現在検討中でございます。何としても設置できるよう努力して参りますが、いずれ別に御相談申し上げますので、御配慮賜わりたくよろしくお願い申し上げます。

このほか、市営競技場、福生野球場のスプリンクラー設置等、スポーツ環境の整備を行い、スポーツ活動の振興を図って参ります。

行政推進面では、本年は参議院議員選挙の年であります。

また事務改善面では、税の課税客体の正確な把握のための既存家屋の全戸調査や航空写真撮影、また税証明の迅速性を図るためマイクロフィルムによる証明書作成等のほか、住民情報のオフィスコンピューターによる処理、ワープロの試行的導入や健康センターのパーソナルコンピューター導入等OA化を図り、行政サービスの向上を図って参りたいと存じます。

既に申し述べました通り、自治体を取り巻く環境はますます厳しくなると存じますが、将来を見通し、着実に前進していくことこそ明日の福生市のために必要だと考え、計画性ある行財政運営にあたって参りたいと存じます。

終わりに臨み、ここに御参集の議員各位におかれましては、日頃深い御理解と御協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げますと共に、私も全力をあげて市政の運営に取り組んで参りますので、どうか昭和61年度も一層の御支援、御協力を賜わりますようお願い申し上げます。私の所信の発表とさせていただきます。